

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																			
札幌看護医療専門学校	令和3年3月12日	佐々木 孝	〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-5 (電話) 011-801-8343																																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																			
学校法人滋養学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																																			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																	
医療	医療専門課程	臨床工学技士学科		平成6年文部科学大臣 告示84号	-																																	
学科の目的	生命維持管理装置を操作、点検、管理を行う医療技術者としての責任を果たし得る人材を本校の建学の理念(実学・人間・国際教育)に基づき育成する。専ら生命を直接担う医療機器を取り扱う者としての認識をもち社会に貢献できる喜びと、誇りをもてる医学・工学の基礎知識・技能を修得させる。																																					
認定年月日	令和3年3月11日																																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																																
3年	2730時間 (109単位)	510時間 (32単位)	1665時間 (59単位)	555時間 (18単位)	0時間	0時間																																
	時間																																					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																	
120人	91人	0人	5人	67人	72人																																	
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 成績評価における評価点は、平素の学習状況、出席状況の3要素による加点ならびに試験結果を元に100点法とし、60点以上を合格点とし、成績評価による学業結果を総合的に判断し、GPAを用いて算出する。GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入する。 【GPAを算出する計算式】 「GPA = (該当授業科目の単位数 × 各授業科目で得たGP) の合計 ÷ 当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計」																																		
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏 季：8月2日～8月24日 ■冬 季：12月20日～1月12日 ■学年末：令和8年4月1日～3月31日		卒業・進級条件	学年単位取得及び卒業の認定は、本校の教育課程に定める各学年における全ての各学科科目の単位を取得したとき、学校長が行う。																																		
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 学生個々に応じて必要時に学習面、対人面、健康面についての指導を行っている。また保護者面談も実施している。		課外活動	■課外活動の種類 避難訓練、学園祭(部分実施)、学年交流会、実習激励式等 ■サークル活動：有																																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和7年度卒業生) 病院および診療所 ■就職指導内容 就職についての相談は担任・学科長が随時対応。2年次2月期より、キャリアセンターの協力のもと、面接練習、履歴書内容指導、各病院からの募集案内を掲示、就職試験のための必要書類について説明している。 <table border="1"> <tr> <td>■卒業生数</td> <td>36</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>21</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>12</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>57%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業者に占める就職者の割合</td> <td>33%</td> <td>%</td> </tr> </table> ■その他 ・進学者数：0人 (令和7年度卒業生に関する令和8年3月31日時点の情報)		■卒業生数	36	人	■就職希望者数	21	人	■就職者数	12	人	■就職率	57%	%	■卒業者に占める就職者の割合	33%	%	主な学修成果(資格・検定等)※3 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>②</td> <td>34人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>第2種ME技術実力検定試験</td> <td>③</td> <td>33人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	臨床工学技士	②	34人	12人	第2種ME技術実力検定試験	③	33人	17人								
■卒業生数	36	人																																				
■就職希望者数	21	人																																				
■就職者数	12	人																																				
■就職率	57%	%																																				
■卒業者に占める就職者の割合	33%	%																																				
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																			
臨床工学技士	②	34人	12人																																			
第2種ME技術実力検定試験	③	33人	17人																																			
中途退学の現状	■中途退学者 10名 令和7年4月1日時点において、在学者101名(令和7年4月1日入学者を含む)令和8年3月31日時点において、在学者99名(令和8年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学力不審/6名・学校生活への不適合/3名・進路変更/1名 ■中退防止・中退者支援のための取組 目的意識喪失者に対しては、個別面談や仕事をするための意味を伝え、学力不足者の対策については放課後に補習を行う。また、スクールカウンセラーと協力して精神面のサポートを行い、中途退学者0名を目指す。		■中退率 9.9%																																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 待特性制度、兄弟姉妹・保護者減免制度、単位減免制度、卒業生減免制度 ■専門実践教育訓練給付：非給付対象																																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																																					
当該学科のホームページURL	https://www.snm.ac.jp/course/clinicalengineer/																																					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係																											
<p>(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針</p> <p>企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように、業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改訂を定期的実施することを目的とする。</p>																											
<p>(2) 教育課程編成委員会等の位置付け</p> <p>※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記</p> <p>医療機関その他において生命維持管理装置を操作、点検、管理を行う医療技術者としての医学・工学の基礎知識・技能を修得し、社会にその責任を果たし得る人材を育成できるカリキュラムを編成するための委員会を組織する。また、教育課程編成委員会で得られた意見や実習巡回時のヒヤリング内容については、学科内で方策を検討し、学生教育に反映させる。</p>																											
<p>(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿</p> <p style="text-align: right;">令和8年4月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 前</th> <th style="width: 35%;">所 属</th> <th style="width: 20%;">任 期</th> <th style="width: 20%;">種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真下 泰</td> <td>公益社団法人 日本臨床工学技士会 理事</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>布施 崇宏</td> <td>公益社団法人 北海道臨床工学技士会 会長</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>佐藤 忠寿</td> <td>医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 臨床工学技士 係長</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>中西和樹</td> <td>札幌看護医療専門学校 事務局次長</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山田 憲幸</td> <td>札幌看護医療専門学校 臨床工学技士学科 学科長</td> <td>令和7年4月1日～令和9年3月31日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。</p> <p>(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>				名 前	所 属	任 期	種 別	真下 泰	公益社団法人 日本臨床工学技士会 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	①	布施 崇宏	公益社団法人 北海道臨床工学技士会 会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	①	佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 臨床工学技士 係長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③	中西和樹	札幌看護医療専門学校 事務局次長	令和7年4月1日～令和9年3月31日		山田 憲幸	札幌看護医療専門学校 臨床工学技士学科 学科長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	
名 前	所 属	任 期	種 別																								
真下 泰	公益社団法人 日本臨床工学技士会 理事	令和7年4月1日～令和9年3月31日	①																								
布施 崇宏	公益社団法人 北海道臨床工学技士会 会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	①																								
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 臨床工学技士 係長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	③																								
中西和樹	札幌看護医療専門学校 事務局次長	令和7年4月1日～令和9年3月31日																									
山田 憲幸	札幌看護医療専門学校 臨床工学技士学科 学科長	令和7年4月1日～令和9年3月31日																									
<p>(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期</p> <p>(年間の開催数及び開催時期)</p> <p>年間開催数:2回 開催時期:7月、2月</p> <p>(開催日時(実績))</p> <p>令和7年度第1回 令和7年8月17日 15:00～17:00(予定) 対面とオンラインを含めたハイブリッド会議</p> <p>令和7年度第2回 令和8年2月5日 15:00～17:00 対面とオンラインを含めたハイブリッド会議</p>																											
<p>(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況</p> <p>教員授業評価することでの教育向上の御意見を頂き、WEBアンケートを実施。</p> <p>養成校増加に伴う学校の特色をもつべきご意見を頂き、ICT教育システムに生成AIを導入。</p>																											
2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係																											
<p>(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針</p> <p>臨床工学技士の行う主な業務について実的な知識を身に付けさせる。具体的には臨床工学技士業務指針を参考にし、業務を行うのに必ず修得しておかなければならない、基礎的事項について、実習ならびに見学を行い高い実践力を備えた人材の育成をはかる。</p>																											
<p>(2) 実習・演習等における企業等との連携内容</p> <p>※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>臨地実習及び学内実習 通年の病院見学を通じ将来像とモチベーション向上に寄与</p>																											

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	臨床現場における臨床工学技士業務全般に関する実習	旭川医科大学病院、札幌北辰病院、手稲溪仁会病院、新札幌駅前内科循環器、とよた腎泌尿器科クリニック 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園および学校が実施する担任研修、研究授業、運営会議などを通じて教員としての教授力向上を図る。専門スキルに関しては、CE関連業界が主催する学会、セミナー、研修会、発表などに参加し、最新状況の収集を行い、学生指導・学生支援のスキルアップを図る。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第35回日本臨床工学会」(連携企業等: 日本臨床工学技士会、医療機器メーカー全般)
 期間: 令和7年5月17日(土)～18日(日) 対象: 臨床工学技士及び医療従事者
 内容: 臨床工学技士全般の学会

研修名「第50回 日本体外循環技術医学会大会」(連携企業等: 日本対外循環医学会、医療機器メーカー全般)
 期間: 令和7年10月12日(日)～13日(月) 対象: 臨床工学技士及び医療従事者
 内容: 体外循環に関する学会

研修名「第36回北海道臨床工学会」(連携企業等: 北海道臨床工学技士会、医療機器メーカー全般)
 期間: 令和7年11月23日(日) 対象: 臨床工学技士及び医療従事者
 内容: 臨床工学技士全般の学会

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第40回日本臨床工学技士教育施設協議会社員総会・教員研修会」(連携企業等: 教育施設協議会)
 期間: 令和7年5月31日(土)～6月1日(日) 対象: 臨床工学技士養成校教員
 内容: 臨床工学技士養成校教員の学会

令和7年8月1日(金) 令和7年度 第1回 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会

令和7年12月18日(木) 令和7年度第2回文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第37回北海道臨床工学技士会」(連携企業等: 北海道臨床工学技士会、医療機器メーカー全般)
 期間: 令和7年11月28日(土)～29日(日) 対象: 臨床工学技士及び医療従事者
 内容: 臨床工学技士全般の学会

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第41回日本臨床工学技士教育施設協議会社員総会・教員研修会」(連携企業等: 教育施設協議会)
 期間: 令和8年5月30日(土)～5月31日(日) 対象: 臨床工学技士養成校教員
 内容: 臨床工学技士養成校教員の学会

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

日々の学校運営については学内の学校長、副校長、事務部門長のものより月2回の定例会議にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行っている。また、学校関係者評価委員会で得られた外部評価における意見や提案はその内容を検討し12月には改善計画を含めた事業計画を策定している。自己点検自己評価については、年度終了後に「計画」「実践」「評価」の一連の評価を行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し自己評価点検を実施し学校関係者評価との連動により学校運営に活用している。一方教育活動については事務局長ならびに学科長で構成される学内組織において教育実践上の問題の検討や計画の修正等を検討し、年2回の教育課程編成委員会への報告により毎年次年度カリキュラムへ反映し日々の授業運営の改善に取り組んでいる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育人人材像は定められているか ・学校の特色は何か ・学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針は定められているか 2-5事業計画は定められているか ・運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか ・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか ・意思決定システムは確立されているか ・情報システム化などによる業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科の教育目標、育人人材像はその学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか ・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか ・カリキュラムは体系的に編成されているか ・学科の各科目はカリキュラムの中で適正な位置づけをされているか ・キャリア教育の視点にたったカリキュラムや教育方法などが実施されているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・教員の専門性を向上させる研修を行っているか ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか ・資格取得の指導体制はあるか
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図れているか ・資格取得率の向上が図れているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生のの社会的な活躍及び評価を把握しているか
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関する体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学外実習、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は適正に行われているか ・学生募集において教育成果は正確に伝えられているか ・入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか ・学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備は出来ているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関しその保護のための対策が取られているか ・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ・自己点検自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価は年に1度実施している学校関係者評価委員会により各委員の意見を反映し学校運営に活かすべく方針を決定している。

業界・地域の新しい動きをリードする産官学協同教育を柱とした教育環境の提供を推し進める。

1. ICTを導入した教育の推進を行い、早期から専門性に触れられる(アーリーエクスポージャー)カリキュラム構成にする。
2. 模擬患者演習、業界との共同研究をカリキュラムに取り入れることにより、主体的、対話的で深い学び(アクティブラーニング)を推進する。
3. 創造力を育む異分野交流学習の仕組みを創り発展させる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院	令和7年4月1日～令和9年3月31日	卒業生代表
加藤敦	学生の保護者	令和7年4月1日～令和9年3月31日	保護者代表
対馬 康次	北海道札幌東商業高等学校 副校長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	高等学校関係者
三上真広	株式会社札幌副都心開発公社 取締役	令和7年4月1日～令和9年3月31日	地域関係者
中村琢哉	医療法人脳神経外科研究センター新さっぽろ脳神経外科病院 理事・事務長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	医療分野代表
桑原 毅	医療法人社団 一心会 経営本部 人事部長	令和7年4月1日～令和9年3月31日	医療分野代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.snm.ac.jp/school/info/>

公表時期: 令和8年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者に対しては、業界視点を越えた教育施設としての社会活動からの評価視点を得ることが出来るため、これらを学校教育の客観的な評価、運営での業界目線、地域目線、保護者目線、卒業生目線、そして行政目線から第三者の外部評価と意見をいただく委員会として位置づけをしている。したがって、その情報提供は、学科ごとに設けた教育課程編成委員からの教育評価や産学連携、業界連携についての報告を密に行うとともに、学校の各行事(入学式、実習報告会、懇談会、研究発表会、卒業式等)にも委員の出席をいただき、学園の生の活動の理解を得る機会を持つように心がけとともに、ホームページを通じて積極的に学校情報を発信し、学校の運営状況について知っていただく機会を持つ努力と教育施設としての水準の向上に努めている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	(2) 各学科等の教育
(3) 教職員	(3) 教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) 様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	(6) 学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	(10) 国際連携の状況
(11) その他	(11) その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.snm.ac.jp/school/info/>

授業科目等の概要

(医療専門課程 臨床工学技士学科) 令和8年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			生物学	分子生物学的な観点からDNAやRNAの機能と構造を学び、染色体異常の遺伝病を説明できるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			化学	臨床工学技士として必要な原子の質量や電子を学び、イオン、分子や物質質量（モル）などを理解できるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			物理学	諸力学を中心に、機械工学をはじめとする専門基礎科目、専門科目の基盤となる物理学を系統的に説明できるようになる。	1後	30	2	○			○			○	
○			人間関係論	人間関係の諸問題を理解し、円滑な人間関係を築くことができるようになる。	1前	15	1	○			○			○	
○			文章力	事実や意見を論理的にとらえ、読む・聞く・考える・書く・話すことができるようになる。	1前	30	2	○			○			○	
○			接遇・マナー教育	現場におけるマナーやコミュニケーションについて理解し、患者様やスタッフに対する接遇を学び実践できるようになる。	1前	45	1			○	○			○	
○			キャリア教育	将来像を明確にし、目標達成に向けた目的の構築をする。また、医療従事者としての心構えを身につける。	1前・1後	60	2			○	○			○	
○			ICT演習	学内で必要となるICTの知識を学び、PCやタブレットの初期設定やセットアップができるようになる。	1前	15	1	○	○		○			○	
○			社会福祉学	社会福祉の現状を体系的に学び、医療人として福祉関連の法律について、どのように活用されているか説明できるようになる。	1前	15	1	○			○			○	
○			英語	一般英語および医療英語を学び、海外研修での会話や学術論文を読めるようになる。	1後	15	1	○			○			○	
○			人の構造および機能Ⅰ	人体を構成している組織（細胞・骨・筋肉・神経）の構造および機能を学び、説明できるようになる。	1前	30	1			○	○			○	
○			人の構造および機能Ⅱ	人体を構成している組織（心臓・消化器系・肝臓・膵臓）の構造および機能を学び、説明できるようになる。	1前	30	1			○	○		○		
○			人の構造および機能Ⅲ	人体を構成している神経系・感覚系・呼吸器系の構造および機能を説明できるようになる。	1後	30	1			○	○			○	
○			人の構造および機能Ⅳ	人体を構成している泌尿器系・内分泌系・生殖器系の構造および機能を説明できるようになる。	1後	30	1			○	○			○	

